

SBSグループ、夏季節電対策を半月延長し終了

Edited By LogisticsToday On 2011/10/14



全通本社で取り組んだ緑のカーテン

SBSホールディングスは14日、グループ各社とともに取り組んでいた「クール・ビズ」期間を終了したと発表した。同社では「グループ全体で節電意識が高まるなど一定の成果を得ることができた」と成果を強調している。

SBSグループでは、毎年、地球温暖化防止対策の一環としてクール・ビズに取り組んでいるが、ことしは東日本大震災による電力不足対策として、例年より早く5月16日から開始し、終了も半月間延長、4か月間の実施となった。

ことしは特に節電対策を強化、蛍光灯の間引きや消灯、冷房の28度設定厳守や使用制限、パソコンの離席時節電、ドレスコードの緩和など、グループ各社や事業所の状況に応じた節電対策を実施。

この結果、グループ全体で節電意識が高まり、前年に比べてティーエルロジコム全体では14%減（4-7月）、全通本社で34%減（3-8月）、8社の本社が集結するSBSグループ本社（東京都墨田区）では20%減（6-9月）など、使用電力の大きな削減効果が得られた。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/21676>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.